

エム・ビー・アイ・ジャパン

代表取締役社長
宮本
学



投資先実態 を明らかに

ファンド分析積極利用を

(聞き手) 和田 康裕

米国M&Pの日本法人エム・ピー・アイ（M&P-I）ジャパンは、ファンダ分析システム「スタイルス」を日本国内に提供している。金融業界で幅広く導入され、利用法も多種多様だ。宮本学代表取締役社長は「アンド分析の役割や、金融機関の活用について聞いた。

「当社が提供を促し、販売会社はよりするスタイル、良い商品選定や顧客に確実な情報提供ができる。最終的に投資家の保護や利益に結びつき、健全な投資環境を作れる」

——米国の金融危機をどう見るか。

「複雑な仕組み償や証券化商品が金融の実態を不透明にして、多大な損失を被る事態に陥った。もしあらかじめネガティブな情報を知り得ていたら、リスクを回避してきた投資家は多かったのではないか。金融機関がファンダメンタル分析を積極的に利用すれば、顧客により有益な投資情報を提供できる。商品選定でも、セカンドオピション的な評価手

パンを現職。12月M P I設立してから得たりターンを様々な指数组成分析する。指數は毎日市場から提供され、日次、週次、月次で様々な分析が得られる。リターントと市場動向の因果関係を明らかにして、そのファンダメンタルがどのような運用をしているのかを突き止める」

——ファンダ分析はなぜ必要なのか。